

「ミドリマン」として、 自然と街をつなぐヒーローに 豊島大輝さん

セラピーと自然体験を組み合わせたプログラムを、温泉宿泊施設で実践している豊島さん。自然から離れてしまった社会を、リ・モデリング（再構築）したいと言います。

千葉県君津市の亀山温泉ホテルで、亀山湖畔でのヨガ、焚き火や星空を眺めながらの自然体験を通じ、都会の生活で疲れた心身を癒すためのプログラム「亀山温泉リトリート」を運営する豊島大輝さん。リトリートとは、普段住む場所を離れて、心や体を癒す過ごし方のことです。

「子どもたちには『ミドリマン』と呼ばれてます」と言う豊島さんは、麦わら帽子にグリーン系のTシャツがトレードマーク。「ホテルの制服でフロントに立っているより、自然のことはこの人に聞いてみようと、ひと目見てわかるようなキャラクターにしようと思

って（笑）」

週末はキャンプ、釣りなどをして過ごすアウトドア一家で育ったという豊島さん。中学生の頃、システムエンジニアだった父親が大病を患った父親が大病を患

い、介護が必要に。大学進学をあきらめ、ヨガや整体、自然療法などを学んだほか、健康運動指導士の資格も取得しました。

「中学生の頃から、人は自然と離れた暮らしをするとき身を壊すと漠然と感じていたことも、この道に進んだ理由

のひとつです」

自然療法を取り入れた宿泊施設での勤務、県立公園での所長経験などを経て、豊島さんがネイチャーゲームと出会ったのは、長野県の湖畔リゾートでリトリートプログラムの開発に携わっていた2010年のこと。同施設でネ



温泉旅行でたまたまこのホテルに来たというお客様でも、シェアリングネイチャー体験を通して「視野が広がり世界も広がった」と思ってもらえるような、プログラムを日々実践しています。

PROFILE

（とよしま・たいき）セラピスト・健康運動指導士として、旅館やホテルでのリトリートプログラム開発に携わるなか、2010年にリーダー資格を取得。現在は亀山湖畔にある亀山温泉ホテルで「亀山温泉リトリート」を運営。



自然と接する機会が少ない参加者に「普段使わない感性のスイッチを入れるきっかけにしてみたら」と豊島さん。

週末、自然のなかで自分をメンテナンスする。そんな場を各地域につくっていききたい

イチャゲーリーダー養成講座を開催、自身も参加したのがきっかけでした。資格は取ったものの、その後、リーダーとして実践の場はもたなかったという豊島さん。ネイチャーゲームを活用したのは、千葉県に移り、亀山温泉でのリトリートに携わるようになった10年余りあとのことでした。「癒やしやヒーリング体験など大人向けのコンテンツはありましたが、子ども向けのプログラムは用意できていませんでした。そんなときネイチャーゲームリーダー資格をもっていたことを

思い出し（フィールドビンゴ）や「たけんルーペ」を行ったところ大盛況。その後、子ども向けには、ネイチャーゲームのエンタメ性をいかし、大人向けには自然体験を通してシェアリングネイチャーを感じてもらおう、今のスタイルができました」

豊島さんが大切にしているのは、参加した人の「世界観の広がり」。豊島さんの自然体験プログラムに参加した人からは、「今まで2階や3階までの視野しかなかったけど、星空観察に参加して空を見上げる習慣がつかました」、「目に見えるものの先にある世界を想像することができるようになりました」という声が届きます。今後は、全国の志を同じくする人たちとコラボして各地域の「一点」をつなぎ「面」としていききたい、という豊島さん。「気功をはじめ、東洋医学には中庸をとるという考え方があります。自然か都会かのどちらかに振り切ることなく、街に住む人が、週末自然に触れて、中庸のバランスをとって自分をメンテナンスする。そんな場を各地域につくっていききたいと思っています」

自然とつながりを取り戻し、持続可能な社会を再構築したいという豊島さんの挑戦は続きます。



勤め先の亀山温泉ホテル近郊の自然のなかで気功をする豊島さん。都心から近く、周囲には、森、川、湖もあって、週末の心身のメンテナンスに最適です。

